

大垣市議会議員

今回、4件の質問をしました。

No.4  
令和6年  
3月議会

本田ゆみこ 市政報告

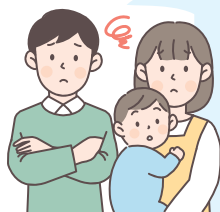
あらたな風で大垣市の未来をつくりだします!

保育の充実について (質問要旨)

- ・4月から育休退園制度が廃止されますが、保育士は十分に確保されていますか。
- ・国がこの度、保育士の配置基準を見直しましたが、それに伴う保育士の人材確保についてはどうですか。
- ・国が始めたモデル事業の「誰でも通園制度」についてはどのように考えていますか。
- ・以前大垣市は5対1の配置基準をわざわざ6対1に改悪されました。厚生労働省が今回の配置基準で1歳児の配置基準を2025年度以降5対1に改善を進めますが、大垣市はどうされますか。
- ・保育士の研修についてどのようにされているのか。

今回4月から育休退園制度廃止となります。制度廃止はいいことだと思っています。しかし、その一方で不安の声もあります。

制度廃止をしたその分の保育士の確保ができていますのから。どうやって確保しているのかも知らせてほしいわ。保育士さんの負担が増えることが予想されるので、子どもたちを預かる保育士が幸せに働ける環境が整えられることが大切なんじゃないかな。人手不足になるといけないので、子ども希望している保育士の方が、出産を控えるってこともありそうね。



答 弁 (石田 仁 市長)

- ・令和3年度育休退園制度の運用見直しで2歳児のみ行き、2年かけて人的、園の環境整備を整え令和5年度に廃止を行った。
- ・人材確保のため、就職準備やアパートの費用等一部補助をするなど確保に努めた。また、会計任用職員確保、正規職員の計画的採用をしている。
- ・令和6年度保育園等サポートスタッフ(周辺業務担当)を配置する。
- ・配置基準は、5歳児25対1、4歳児23対1で国の基準をクリアしている。1歳児に関しては、国の基準が見直されたら適切に対応していく。
- ・職務経験年数に応じた研修、保育実践研修、自主研修で個別に指導を要することもへの対応の研修をしている。

マンション管理計画認定制度について (質問要旨)

- ・「マンションの管理適正化の推進に関する法律」が令和4年4月に改正され、「マンション管理計画認定制度」が始まりました。マンション管理適正化計画認定制度があれば、住んでいる住民にとっても周辺の住民にも安心安全を保障できると考えます。大垣市の現況は?

答 弁 (真鍋和生都市計画課部長)

- ・マンション59棟2375棟がある。
- ・認定制度の受付体制を整備し、HPで周知している。管理組合に対して郵送にて周知している。



管理不全マンションの老朽化を抑制し、周辺への危害等を防止するため、適正に管理がなされているマンションを行政が評価するものだよ。



Yumiko's Voice

今回の議会では災害対策について質問が多く出ました。市民ネットワークとして、昨年9月から小・中学校体育館にエアコン設置に関して質問をしています。当初、優先順位からエアコン設置を考えていませんでした。今回は能登半島地震のこともあり、エアコン設置に関して調査研究となりました。

私の本会議の一般質問をご覧ください

- ◆大垣ケーブルテレビ放送 11ch このチラシを見ながらご視聴ください。
- ◆3月17日(日) 9:00~(14:40時頃~)放送予定
- ◆3月19日(火) 16:00~(20:40時頃~)放送予定

災害対策について (1回目質問要旨)

- ・指定避難所、届出避難所、福祉避難所の現況についてと住民が知る手段について
- ・災害時の指定避難所として小・中学校体育館にエアコン設置要望
- ・災害発生時、マンション住民が行う避難方法、心構え、準備するもの等の周知について

答 弁 (青井明彦生活環境部長)

- ・指定避難所として、小・中学校や地区センター163箇所、そのうち福祉避難所は30箇所、届出避難所は85箇所(令和6年2月末)ある。
- ・避難場所は、大垣市HP、大垣市防災ポータルサイト大垣防災、避難所への看板設置、大垣市洪水ハザードマップで知ることができる。
- ・災害時は国のプッシュ型支援で対応する。災害時の重要性和普段の必要性から調査研究をしていく。
- ・避難の仕方の周知としては、大垣市防災ハンドブック、大垣市ポータルサイト、SNS棟でしている。心構えとしては、自分の身は自分で守るということで、危険箇所の確認、家具の耐震対策などを伝えている。また防災出前講座で再確認してもらっている。

2回目質問要旨

- ・瑞穂市は当初中学校1校ずつエアコンを3年計画で設置していくの事を、今回の能登大地震を受けて3校とも今年度中に設置をすることとしました。また、岐阜市は令和6年度中に全小中学校69校の屋内運動場にエアコン設置が完了します。大垣市も早急に屋内運動場のエアコンを設置することを要望します。



答 弁 (青井明彦生活環境部長)

- ・災害時は国のプッシュ型支援で対応する。災害時の重要性和普段の必要性から調査研究をしていく。

市とシルバー人材センターの関わりについて (質問要旨)

- ・シルバー人材センターへの補助金の額とその目的について
- ・センターが競輪場から受注した業務委託についてどうなっていますか。
- ・市の指導監督責任について
- ・令和6年の秋からフリーランス法が始まります。その適用についてはどうなりますか。

今まで月に6日~10日働いていたのが、相談もなく一方的に2月からは2日~3日になってしまいました。生活給として当てにしていた報酬は6万円ほどだったものが2万円くらいに減りました。会員の就業実績や希望に沿った就業機会の提供につとめることが大切なのでは? 一般会計から補助金1000万円も出していることから市は何らかの指導をしていく必要があるのでは?



答 弁 (大沢一弘健康福祉課部長)

- ・センターの円滑な運営を促進するため補助金額は令和5年度1050万円。
- ・センターが発注した大垣競輪場の業務委託は仕様書にて業務内容を定めているが、人員配置については事務局が行っている。
- ・適正な執行がされているか審査をしているが、人員配置の指導監督の権限はない。
- ・フリーランス法は、シルバー人材センターの会員に適用される場合もある。

本田ゆみこ 事務所 〒503-0824 大垣市旭町1丁目5番地  
TEL 71-8677 FAX 75-2455  
自宅事務所 〒503-0831 大垣市新長沢町1丁目26番地1

